

夏だ！海と地域医療体験ツアー in 高浜2022 実績報告

【概要】

令和4年7月20日から8月14日まで、地域医療に関心のある医療系学生（医学生・看護学生など）や研修医を対象とし、高浜の地域や海を楽しみながら地域医療実習を体験できる企画を、地元観光協会や若狭和田ライフセーバーの協力のもと、高浜町が福井大学医学部に設立している寄附講座「地域プライマリケア講座」と高浜町の共催で開催しました。

また、実習内容について、本年より「JCHO若狭高浜病院」と「和田診療所」での合同実習として実施しました。

【開催日程及び参加人数】

コース	期間	参加人数	備考
コース①	7月20日(水)～7月24日(日)	1名	
コース②	7月27日(水)～7月31日(日)	1名	
コース③	8月3日(水)～8月7日(日)	4名	
コース④	8月10日(水)～8月14日(日)	4名	

○医学生7名、看護学生3名 計10名
○上記の参加者に加えて、救護所ボランティア2名（※過去のツアー参加者から自主的に参加、医師1名・看護師1名）
○各コース最大4名受け入れで実施

【実習の主な内容】

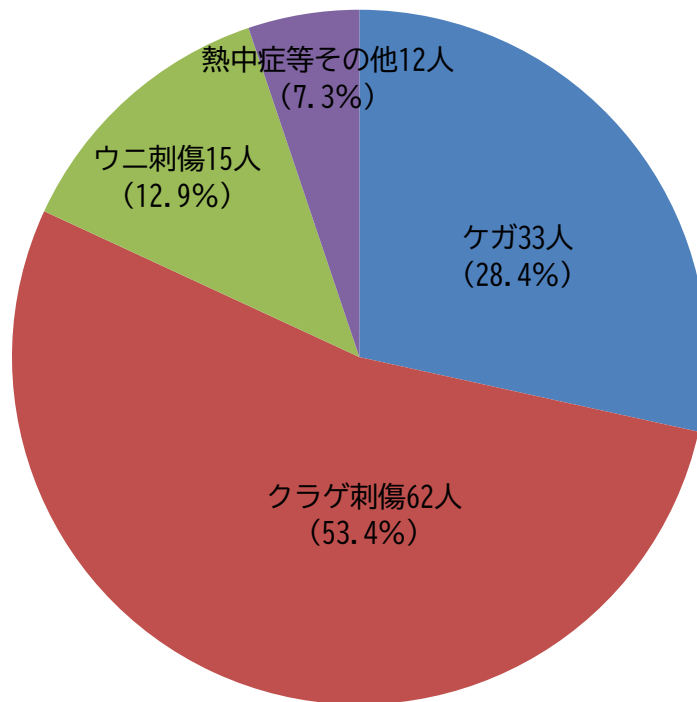
曜日	内容	備考
水曜日	オリエンテーション・地域医療、家庭医療レクチャー	
木・金曜日	外来・病棟実習等・在宅医療実習等	JCHO若狭高浜 和田診療所
土・日曜日・祝日	救護所での救護ボランティア体験（JCHO若狭高浜病院・和田診療所スタッフ指導、若狭和田ライフセービングクラブ協力）	若狭和田ビーチ救護所
フィードバック	指導医といっしょに、実習記録をもとに参加者全員でフィードバック	実習終了後／全日程（毎日）

宿泊は地元の民宿にお世話になり、空き時間にはBLUE FLAG（ブルーフラッグ：※1）を取得した若狭和田ビーチのきれいな海を楽しみました。



【海と地域医療体験ツアー2022 救護所ボランティア実績】

岩場で足を切った方、クラゲに刺された方、ウニのトゲが刺さった方など、116人の患者さんが救護所を利用され、若狭高浜病院、和田診療所の医師（研修医含む）、看護師、過去のツアー参加者の指導のもと、参加者が主体的に適切な処置を行うとともに、各種レクチャーを実施しました。



救護所対応内訳（計122人）※救護所において、本ツアーで対応した人数のみを集計



【2022年参加者の「声」】

「参加者1人でどうなることかと思いましたが、和田診療所の皆さん、高浜病院の先生方、救護所ではボランティアの皆さんがとても親身になって教えて下さったり、お話し下さったお陰でとても充実した5日間になりました！高浜町の方々も本当に優しく、気さくに話かけて下さったり気にかけていただいて、人の温かさを感じました。自分もどんな医師になるか以前に、そのような安心感を与えられる、信頼のおける人間になりたいと思いました。今後は今いる環境で、周りの人とのコミュニケーションを増やし、つながりをもっと大切にしていきたいと思いました。実習では、先生方が日常会話の中から患者さんの困りごとを聞き出す様子を見て感銘を受けたり、先生方の知識見聞の豊富さに圧倒され、今後の勉強のモチベーションにもなりましたし、広く視野を持っていたいと思うようになりました。5日間大変お世話になりました。ありがとうございました！」

「ニーズに応えるだけでなく、ニーズを創造するという学びがとても印象に残っています。学びと楽しさが多いツアーでした。参加者が私以外いなかったのが少し残念でしたが、その分先生方と色々なお話をさせていただけたので良かったです。またぜひ高浜に行きたいです。今後もより良い医療の実現に向け、目の前のできることに一生懸命取り組んでいこうと思います。本当にありがとうございました。」

「今回のツアーで私は町の良さをたくさん知ることができました。医療や行政がつながりを持つことで地域住民が安心して在宅医療を受けることができるということがわかった。また、質問の仕方とか情報の聞き出し方が上手な人にたくさん出会うことができ、学びも多い5日間でした。一人一人に丁寧に関わる医療を今回は知ることができて、今後このような関わり方を忘れずに医療者として働きたいと思いました。」

「様々な体験をさせていただき視野が広がりました。すごくいい経験になり楽しかったです。ありがとうございました。」

「井階先生の魅力に誘われて参加しましたが、井階先生はもちろんのこと、他にも多くの素敵な方々に出会えて、とても有意義な5日間でした。改めて、高浜町はいいまちだなあ、私も高浜町のようなまちをつくれたらなあと思えました。今回のツアーに参加して、人全体を診るのはもちろん、改めて、地域全体を診るということを学べて、モチベーションが上がりました。今回の学びや経験を糧に私も自分のまちをよりよくしていけるよう邁進します！お忙しい中、このような胸躍り夢が膨らむ企画をありがとうございました！高浜町を見習い、私もいつか岐阜県でも山と地域医療体験ツアーでも企画したいです。」

「やまち先生の「子を診ることは親を診ること」というお言葉が強く印象に残っています。救護所で出来ることは限られており、最も重要となるのは状況の理解と適切な説明です。傷を受けた本人に状況の説明と理解を求めるのではない、という考え方は初日のオリエンテーションに通ずるものがあると感じました。この先6年間の勉強で医学的な知識を付けることは勿論ですが、医師としてではなく1人の人間として加えてコミュニケーション能力を伸ばす鍛錬を積もう、と考えます。最後になりますが、海と地域医療体験ツアーを開催していただき本当にありがとうございました。医学生としてだけではなく、人間として大切なことを多く学ぶことができました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。」

「高浜における地域医療の実際を垣間見ることができたと思います。このイベントを通して、たくさんの素晴らしい方と出会えたことも財産だと思います。参加させていただき、ありがとうございました。」

「5日間、たくさんの先生方や中島さん、救護所の皆様の温かいご協力のもと、非常に有意義な実習となりました。5日間とは思えないぐらい一瞬で終わってしまい、名残惜しいです。一つ、救護所が3日は非常に楽しかったですが、実習をもっとたくさんしたいなと感じたので、次回以降は実習が2日あれば良いなと感じました。旅館の食事がとても美味しく、量もたくさんあって最高でした。5日間、本当にありがとうございました。」

「本当に有意義な実習となった。過去に和田診療所に訪れたことがあるが、救護所の存在意義や終末期医療に関する自分なりの考えについて学べたと思う。また学んだこと以上に志が高い医療系の学生さんや先生、行政の方などに会えたことが何よりも代え難い財産になったと思う。次に和田診療所に伺うことがあったら経験者として他の実習生と共に話し合い考えていきたいと思う。」

【これまでの参加者の「声」】

「地域医療の現場を実際に見ることで、理解を深めることができた。」

「地域医療がどのように行われているのか、福祉とどう連携しているのかを現場で見ることができた。」

「地域の人と生きることの大切さを学んだ。」

「海の綺麗さに驚いた。」

「学びも遊びも盛りだくさんで楽しかった。」

「地域自体の魅力、人の優しさ、医療者・介護スタッフ・住民の方々との絆の強さを五感で感じることができた充実した5日間だった。実際に行かないと分からない医療者としての心構えや理想の医師像を考える貴重な経験となった。」

「土日の救護所では、ライフセーバーの皆さんともたくさん交流ができた。」

「漠然としていた地域医療や診療所のイメージが確実なものに変わった。」

「同じ民宿で生活することで様々な話をすることができ、仲良くなることができた。」

「学校での座学や実習では学べないことをたくさん学べた。スタッフの方々も研修中に気さくに話しかけてくださり、質問しやすく、学びやすい雰囲気だった。」

「他校の友人もでき、地域の暮らしを見ることができたのはもちろんのこと、地域で問題となる医師不足や高齢化について考えられたこと、患者さんや利用者さん一人ひとりに合った治療とサービスを提供できる良い点にもたくさん直面できたことがとても良い経験になった。」

「常に一人の人の心理や社会にも目を向けて、その方に合ったものを提供できるようになりたいと感じた。そのために、医療者同士、医師と患者さん、そして多職種の方々としっかり連携を図り、信頼関係を作り上げようと思う。」

「5日間、寝食を一緒にすることで、今日の出来事や地域医療について話すことができ、とても有意義な5日間となった。」

「今まで漠然としたイメージだけだった地域医療を具体的にみることができ、たくさんのことを学べた。」

「将来、家庭医療をやっていく勇気と志を与えてくれた。」

「家庭医療学で大切となる多くのことは、他の科でも大切な事だと思う。この気持ちを忘れず、大学病院の実習や臨床研修に臨みたい。」

「勉強、遊びと盛りだくさんなイベントだった。」

「地域医療について万遍なく学べて、海でも遊べて本当に素敵なプログラムだった。」

「研修医の先生方ともたくさん交流出来て良い経験となった。」

「フィードバックの時間に、先生方からコメントを頂けるのがとても良い学びとなった。」

「5日間の中で、様々な種類の実習ができて良い経験となった。」

「救護所ボランティアでのライフセーバーとも交流も楽しかった。」

「最初のウェルカムレクチャーをはじめとした先生方のお話がとても楽しく勉強になった。」

「医学生、看護学生と混じっての地域医療研修は、色々な気付きがあって良い刺激となった。」

「絶対に戻ってきたい場所となった。」

「大学病院の実習では経験出来ない、患者さんと地域行政の密なつながりの中で行われる医療を経験できて良かった。」

【最後に】

新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりました。

応募人数を最小限とし、感染対策を徹底しての開催、急遽参加者が1人となるコースが出るなど、参加者や関係者の皆さま方の多大なるご理解、ご尽力を賜り、本年のツアーを開催することができました。

本ツアーを再開することができ、地域医療への理解の促進、地域医療・プライマリケアに必要な、患者中心の医療、医師の責任性、チーム医療についての理解を提供できたと考えます。さらに、地域医療に対するモチベーションを高め、地域医療を目指したい者を増やすとも考えられました。JCHO若狭高浜病院や和田診療所スタッフも様々なことに気づかされ、学ぶことができました。地域にとって有益な効果があったと感じています。

また、ツアーで知り合った参加者同士の関係は貴重なもので、今後もこのような交流を提供し続けたいと考えています。

今後も出来る限り多くの方のご意向に添えるよう、スタッフ一同尽力して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年のツアーも多くの方のお力添えなしには成功し得なかったという確信のもと、ここに改めて御礼の意を表したいと存じます。本当にありがとうございました。

【参考】

※1：BLUE FLAG（ブルーフラッグ）

世界約50ヶ国・約4,000ヶ所で取得されているビーチ・マリーナの国際認証です。取得するには、4項目33の基準が定められており、厳しい審査をクリアしたビーチ・マリーナにのみ「優れたビーチの証」として世界に認定されます。（毎年更新）高浜では、美しい海を次の世代へ残していくために、「100年後もキレイな海を子どもたちへ」を合言葉に取り組んでいます。

救護所ボランティアを実施する若狭和田ビーチでは、2016年にBLUE FLAGをアジアで初めて取得し、本年で7年連続取得をしています。

